

2024. 8. 30 好きな場所で好きなことを

幼稚園では、週に数回、保護者に、写真で園での遊びの様子を伝えています。昨日の年長さんの保護者への発信では、この Facebook の写真に以下の文を添えていました。

『好きな場所で好きなことを』 今日も保育室では、様々な遊びが展開されています。かき氷屋さんから始まり、ジュース、アイス、クッキーなどに発展し、お店屋さんが毎日年長室で開かれています。お客さんが集まらない時には、お菓子を車に乗せて遊戯室へ出かけて行きます。遊戯室では、鬼ごっこやじゃんけんレースなどで大盛り上がり！自分たちでルールを考えて遊びを進めていきます。頼もしいですね。』

「好きな場所で好きなことを」というタイトルで書かれた文と写真を見て、もちろん実際に幼稚園で子供たちの姿を見ていても、夏休みが明けて 1 週目、子供たちが幼稚園に楽しみに来ることができていることに、嬉しい気持ちになりました。

一方で、自分が小学校に勤務していた時、担任していた 1 年生が、夏休み明けに学校に来ることを楽しみに思えるようにできていただろうか、と思いました。また、夏休み明けの子供たちが、どんな風に学校で過ごしているかを、保護者にもっと伝えられていたらよかったのではないか、とも思いました。

幼稚園と小学校の両方で働くことで、目の前で起きていることを、園から小学校へ一人の同じ子が育っていくことを、家庭とともに支えていくには何を大切にしていけるとよいかという視点で、いつも考えてしまいます。夏休みは終わりましたが、課題は終わることがないことを改めて感じた 8 月の終わりです。

